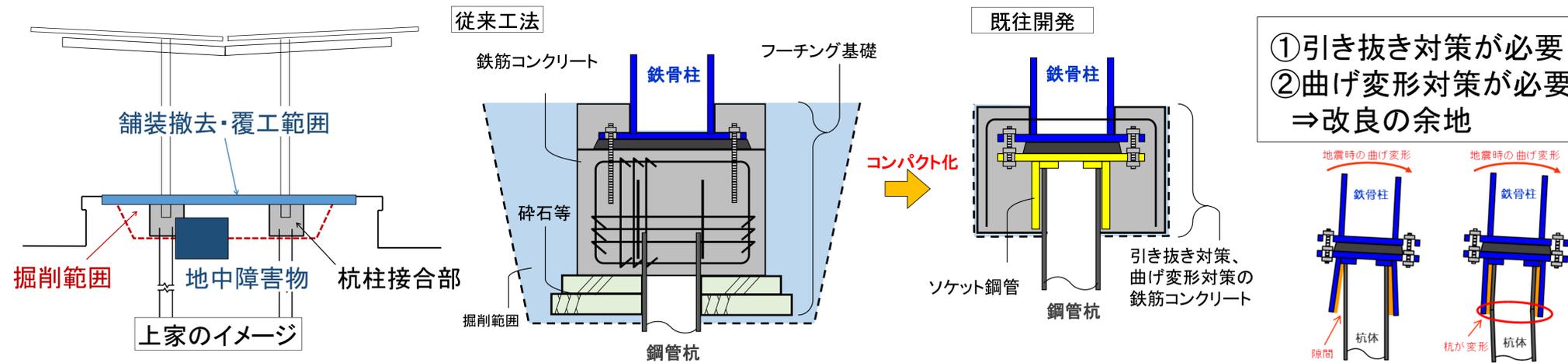


「柱杭スポットと工法」の更なる改良

背景と目的

既往研究にて、柱と杭の接合方法「柱杭スポットと工法」を開発したが、上家柱の引き抜き対策として、配筋工事、コンクリート工事を行う必要があった。そこで本研究では、「柱杭スポットと工法」に改良を加え、新たな引き抜き対策機構を追加したことで、更なるコストダウンと適用拡大を達成した。

開発前の問題点



開発してよくなった点

- ①引き抜き抵抗機構を搭載
- ②鋼管内で曲げ変形対策を実現
- ③曲げ剛性の評価
⇒更なる適用拡大を実現！
- ④掘削範囲縮小、配筋省略
⇒更なるコストダウンを実現！

開発したもの

